

CFP[®]試験出題分析

～ライフ・リタイア編～

TAC

CFP[®]、CERTIFIED FINANCIAL PLANNER[®]、サーティファイド ファイナンシャル プランナー[®]は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd. (FPSB) の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。

1. 試験概要

(1) 日程

CFP 試験は、毎年 2 回（6 月と 11 月の第 2・第 3 日曜日）に実施されます。AFP 試験（2 級 FP 技能検定）とは異なり、2 日間による 6 分野の課目別試験で、課目ごとに合格が認められます。

第1日目：平成27年11月8日（日）	
③ ライフプランニング・リタイアメントプランニング	15：30～17：30

※試験問題の法令基準：平成27年4月1日の時点ですでに施行（法令の効力発行）されているものを基準とします。

※試験の実施日程等はご自身で試験実施団体ホームページまたは受検願書等でご確認ください。

(2) 試験形式

試験形式は各課目ともすべて四肢択一のマークシート方式で 50 問出題。

(3) 合格率データ

■ライフプランニング・リタイアメントプランニング 課目別合格率

	H24年第1回	H24年第2回	H25年第1回	H25年第2回	H26年第1回	H26年第2回
受験者数	1,871名	1,761名	1,670名	1,612名	1,704名	1,582名
合格者数	713名	665名	594名	592名	592名	586名
合 格 率	38.1%	37.8%	35.6%	36.7%	34.7%	37.0%
合 格 ライン	—	—	—	—	30問	28問

2. 課目別攻略法

(1) 出題論点分析

2 級 (AFP) 試験との主な相違点は、出題形式としては 2 級 (AFP) 試験よりもより深い知識が問われる一般問題「文章問題」、設例・設問形式の事例問題「計算問題」並びに資料の読み取り問題等に分類される。

過去問の傾向からは 50 問中 6 つの係数問題は 2 問～4 問、キャッシュフロー表計算問題は 2 問が出題される他、資料の読み取りや情報収集の問題、教育資金設計、住宅取得資金・住宅ローン、社会保険、公的年金関係は毎回出題される傾向にあり、ライフの試験ならではの「教育」・「住宅」・「老後」を軸にした出題傾向となっており、最近の傾向としては CFP 認定者の倫理原則・諸規定・行動規範等も出題頻度が高いので注意したい。

(2) 得点戦略

ライフの分野は「教育」・「住宅」・「老後」の三大資金を中心に多岐にわたり幅が広いいため、どの項目を重点的に学習すれば得点できるのか、よくわからないという方が見受けられる。まず、2 級 (AFP) 試験でも出題される項目は、確実に正解をすることである。

難易度は、50 問中、3～5 問程度は過去問から逸脱した問題、5～7 問程度は過去問から進化したハイレベルな問題が出題される。残り 40 問は比較的過去問と同レベルの問題が出題され、特に毎回出題される問題を確実に正解することが合格への鍵となる。

(3) 標準学習時間

講義時間を除き、1 課目あたり、80 時間～100 時間。

(4) 平成 27 年 6 月試験では

平成 27 年 6 月試験で実際の問題をみてみましょう。

○2 級 (AFP) レベルの問題・・・・・・・・・・問 6

○2 級 (AFP) と CFP の中間レベル問題・・・・問 28

○CFP レベルの論点・・・・・・・・・・問 34

○2級（AFP）レベルの問題

問3

石川明俊さん（40歳）は、2人の子の教育資金を確保しながら老後資金を準備していかなければならないことを心配しています。そこで、CFP[®]認定者に家計診断を依頼して、キャッシュフロー表を作成してもらうことにしました。以下の設問Aについて、答えを1～4の中から1つ選んでください。

<資料>

【収入に関する事項】

○給与収入（年間）

- ・明俊さん（本人・会社員）：現在460万円
- ・智美さん（妻・会社員）：現在250万円

○一時的収入

- ・長男、二男、それぞれが18歳の年に学資保険の満期保険金200万円を受け取る。

【支出に関する事項】

○住宅関連費持ち家（マンション）

- ・住宅ローン：全期間固定金利（年3.2%）、元利均等返済（ボーナス返済なし）
債務者は明俊さんで、70歳完済予定
年間返済額は156.8万円
- ・固定資産税等：年間20万円
- ・管理費および修繕積立金：年間24万円

○教育費

- ・長男は、小学校から中学校までは公立、高校から大学（四年制）までは私立への進学を予定している。
- ・二男は、小学校は公立、中学校から大学（四年制）までは私立への進学を予定している。

〔教育費の現在価値〕

	小学校	中学校		高校		大学	
	公立	公立	私立	公立	私立	公立	私立
年間教育費	30万円	45万円	110万円	35万円	90万円	60万円	90万円
入学一時金	—	10万円	40万円	10万円	30万円	30万円	45万円

※年間教育費と入学一時金は、合算した後計算し、キャッシュフロー表の「教育費（長男）」または「教育費（二男）」の欄に計上している

○自動車関連費

- ・維持費：年間25万円（現在価値）
- ・買替え：9年後（2023年）に300万円（現在価値）
- ・車検費用：2015年、2017年、2019年、2021年、2026年、2028年に車検を行う。費用は1回当たり15万円（現在価値）

※維持費、買替え費用、車検費用は、合算した後計算し、キャッシュフロー表の「自動車関連費」の欄に計上している。

○その他支出

- ・レジャー、帰省、冠婚葬祭等：年間30万円（現在価値）

○一時的支出

- ・家族旅行：11年後（2025年）に100万円（現在価値）

＜現状のキャッシュフロー表＞

(単位：万円)

経過年数			現在	1	2	3	4	5	6	7
西暦 (年)			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
平成 (年)			26	27	28	29	30	31	32	33
家族・年齢	石川 明俊	本人	40	41	42	43	44	45	46	47
	智美	妻	42	43	44	45	46	47	48	49
	純平	長男	12	13	14	15	16	17	18	19
	真二	二男	9	10	11	12	13	14	15	16
ライフイベント				長男 中学進学			長男 高校進学 二男 中学進学			長男 大学進学 二男 高校進学
			変動率							
収入	給与収入 (本人)	1.0%	460	465	469	474	479	483	488	493
	給与収入 (妻)	1.0%	250	253	255	258	260	263	265	268
	一時的収入	0.0%							200	
	収入合計	—	710	718	724	732	739	746	953	761
支出	基本生活費	1.0%	336	339	343	346	350	353	357	360
	住宅関連費	0.0%	201	201	201	201	201	201	201	201
	教育費 (長男)	1.0%	30	56	46	46	125			
	教育費 (二男)	1.0%	30	30	31	31	156			
	保険料	0.0%	65	65	65	65	65	65	53	53
	自動車関連費	1.0%	25	40	26	41	26	42	27	
	その他支出	1.0%	30	30	31	31	31	32	32	32
	一時的支出	1.0%								
	支出合計	—	717	761	743	761	954	904	883	(ア)
年間収支			—	▲7	▲43	▲19	▲29	▲215	▲158	70
預貯金等残高			1.0%	860	826	815	794	587	435	509

経過年数			8	9	10	11	12	13	14	15
西暦 (年)			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
平成 (年)			34	35	36	37	38	39	40	41
家族・年齢	石川 明俊	本人	48	49	50	51	52	53	54	55
	智美	妻	50	51	52	53	54	55	56	57
	純平	長男	20	21	22	23	24	25	26	27
	真二	二男	17	18	19	20	21	22	23	24
ライフイベント				自動車 買替え	二男 大学進学	長男就職 家族旅行			二男就職	
			変動率							
収入	給与収入 (本人)	1.0%	498	503	508	513	518	524	529	534
	給与収入 (妻)	1.0%	271	273	276	279	282	285	287	290
	一時的収入	0.0%		200						
	収入合計	—	769	976	784	792	800	809	816	824
支出	基本生活費	1.0%	364	367	371	375	379	382	386	390
	住宅関連費	0.0%	201	201	201	201	201	201	201	201
	教育費 (長男)	1.0%								
	教育費 (二男)	1.0%								
	保険料	0.0%	53	41	41	41	41	41	41	41
	自動車関連費	1.0%								
	その他支出	1.0%	32	33	33	33	34	34	34	35
	一時的支出	1.0%								
	支出合計	—								
年間収支			—			(イ)				
預貯金等残高			1.0%							

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。また、記載されている数値は正しいものとする。
 ※各項目の計算に当たっては端数を残し、表中に記入の際は万円未満四捨五入したものを使用すること。
 ただし、預貯金等残高は各年ごとに端数を残さず、万円未満四捨五入のうえ計算すること。
 ※収入合計と支出合計、年間収支は表中に記載すべき整数で計算すること。

(問題 6)

(設問 A) 現状のキャッシュフロー表中の空欄 (ア)、(イ) にあてはまる金額の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、計算に当たっては係数表を使用せず、電卓にて計算すること。

1. (ア) 8 8 1 (イ) ▲ 9 8
2. (ア) 8 8 1 (イ) 1 4
3. (ア) 9 6 3 (イ) ▲ 9 8
4. (ア) 9 6 3 (イ) 1 4

出典：平成27年度第1回CFP®資格審査試験
ライフプランニング・リタイアメントプランニング 問 3(問題 6)

○2 級（AFP）と CFP の中間レベル問題

問 1 2

定年退職前後の会社員に関する以下の設問について、答えを 1～4 の中から 1 つ選んでください。

（問題 28）

（設問 E）平成 28 年 3 月末に定年退職を迎える長岡照彦さんは、退職一時金と自助努力で準備した老後のための資金を、平成 28 年 4 月 1 日からの 25 年間、複利運用しながら取り崩して生活費等に充てる計画を立てている。以下の＜条件＞に基づく場合、平成 28 年 4 月 1 日からの当初 10 年間、毎年 3 月末に取り崩すことができる最大金額として、正しいものはどれか。なお、運用益についての税金等は考慮しないものとする。また、計算に当たっては、下記の係数表を乗算で使用し、計算過程で端数が生じた場合は円未満を四捨五入し、解答に当たっては万円未満を四捨五入すること。

＜条件＞

- ・退職一時金と自助努力で準備した老後のための資金の合計は 2,300 万円（平成 28 年 3 月末時点）である。
- ・平成 28 年 4 月 1 日からの当初 10 年間は、年利 1.5 % で複利運用しながら毎年 3 月末に一定額を取り崩す。
- ・平成 31 年 3 月末（平成 28 年 4 月 1 日から 3 年後）に自宅のリフォーム資金として 400 万円を取り崩す。
- ・平成 28 年 4 月 1 日からの当初 10 年間が経過した後の 15 年間は、年利 1.0 % で複利運用しながら毎年 3 月末に 80 万円を取り崩す。

＜係数表＞ ※数値は正しいものとする。

〔終価係数〕

期間	1.0 %	1.5 %
3 年	1.030	1.046
10 年	1.105	1.161
15 年	1.161	1.250

〔減債基金係数〕

期間	1.0 %	1.5 %
3 年	0.330	0.328
10 年	0.096	0.093
15 年	0.062	0.060

〔現価係数〕

期間	1.0 %	1.5 %
3 年	0.971	0.956
10 年	0.905	0.862
15 年	0.861	0.800

〔年金現価係数〕

期間	1.0 %	1.5 %
3 年	2.941	2.912
10 年	9.471	9.222
15 年	13.865	13.343

〔年金終価係数〕

期間	1.0 %	1.5 %
3 年	3.030	3.045
10 年	10.462	10.703
15 年	16.097	16.682

〔資本回収係数〕

期間	1.0 %	1.5 %
3 年	0.340	0.343
10 年	0.106	0.108
15 年	0.072	0.075

1. 74 万円
2. 85 万円
3. 89 万円
4. 104 万円

出典：平成 27 年度第 1 回 CFP®資格審査試験
ライフプランニング・リタイアメントプランニング 問 12(問題 28)

○CFP レベルの論点

問 1 4

公的年金制度の仕組みや受給額等に関する以下の設問A～Hについて、それぞれの答えを1～4の中から1つ選んでください。なお、年金額は平成26年度の物価スライド特例年金額により支給されるものとし、解答に当たっては、以下の＜資料＞を適宜使用してください。また、年金額の計算に当たっては、計算過程において円未満を四捨五入し、受給年金額は百円未満を四捨五入してください。以下、厚生年金保険を「厚生年金」とします。

＜資料＞

[年金の経過措置一覧表（一部抜粋）]

生年月日	老齢基礎の資格期間			老齢厚生年金								
	国民年金と合わせた期間	被用者年金加入期間	中高齢厚生年金加入期間	一般男子の定額部分支給開始年齢	一般女子の定額部分支給開始年齢	定額部分の単価の乗率	一般男子の報酬比例部分支給開始年齢	一般女子の報酬比例部分支給開始年齢	報酬比例部分の乗率 1000分の			
									平15.4.1前		平15.4.1以降	
									新乗率	旧乗率	新乗率	旧乗率
昭25.4.2～昭26.4.1	25年	20年	19年	—	63歳	1.000	60歳	60歳	7.125	7.50	5.481	5.769
昭26.4.2～昭27.4.1	〃	〃	—	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭27.4.2～昭28.4.1	〃	21年	—	—	64歳	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭28.4.2～昭29.4.1	〃	22年	—	—	〃	〃	61歳	〃	〃	〃	〃	〃
昭29.4.2～昭30.4.1	〃	23年	—	—	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭30.4.2～昭31.4.1	〃	24年	—	—	—	〃	62歳	〃	〃	〃	〃	〃
昭31.4.2～昭32.4.1	〃	—	—	—	—	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
昭32.4.2～昭33.4.1	〃	—	—	—	—	〃	63歳	〃	〃	〃	〃	〃
昭33.4.2～昭34.4.1	〃	—	—	—	—	〃	〃	61歳	〃	〃	〃	〃
昭34.4.2～昭35.4.1	〃	—	—	—	—	〃	64歳	〃	〃	〃	〃	〃
昭35.4.2～昭36.4.1	〃	—	—	—	—	〃	〃	62歳	〃	〃	〃	〃
昭36.4.2～昭37.4.1	〃	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃	〃	〃
昭37.4.2～昭38.4.1	〃	—	—	—	—	〃	—	63歳	〃	〃	〃	〃
昭38.4.2～昭39.4.1	〃	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃	〃	〃
昭39.4.2～昭40.4.1	〃	—	—	—	—	〃	—	64歳	〃	〃	〃	〃
昭40.4.2～昭41.4.1	〃	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃	〃	〃
昭41.4.2～昭42.4.1	〃	—	—	—	—	〃	—	—	〃	〃	〃	〃
昭42.4.2～昭43.4.1	〃	—	—	—	—	〃	—	—	〃	〃	〃	〃

[特別支給の老齢厚生年金の計算式] 物価スライド特例年金額

(1) 定額部分：1,676円×定額部分の単価の乗率×被保険者期間の月数×0.961

(2) 報酬比例部分：{(ア) + (イ)} × 1.031 × 0.961

(ア) 平成15年3月までの被保険者期間分

(平成6年再評価) (旧乗率)

平均標準報酬月額 × 給付乗率 × 平成15年3月までの被保険者期間の月数

(イ) 平成15年4月以降の被保険者期間分

(平成6年再評価) (旧乗率)

平均標準報酬額 × 給付乗率 × 平成15年4月以降の被保険者期間の月数

[老齢厚生年金に係る配偶者の加給年金額]

386,400円

※平成16年改正によるマクロ経済スライドによる調整は適用されず、物価スライド特例措置による従前額が支給されるものとする。

(問題 34)

(設問A) 会社員の坂口益生さんは、62歳から公的年金を受け取ることができると知り、年金の受取りについてCFP®認定者に相談した。益生さんが62歳になるまで会社に勤務した場合、益生さんの60歳台前半の老齢厚生年金の額として、正しいものはどれか。

＜坂口さん夫婦のデータ＞

氏名	続柄	生年月日	年齢
坂口益生	夫	昭和31年4月10日	59歳
坂口華子	妻	昭和34年5月20日	56歳

※華子さんは益生さんに生計を維持されており、今後も変わらないものとする。

※華子さんの厚生年金加入期間は10年未満である。

＜益生さんの厚生年金加入歴＞

昭和54年4月から62歳に達するまで(468月)

[内訳]

- ・平成15年3月までの期間：288月
旧再評価率による平均標準報酬月額33万円
- ・平成15年4月以降の期間：180月
旧再評価率による平均標準報酬額53万円

1. 1,251,500円
2. 1,637,900円
3. 2,005,300円
4. 2,391,700円

出典：平成27年度第1回CFP®資格審査試験
ライフプランニング・リタイアメントプランニング 問14(問題34)

■CFP資格審査試験

ライフプランニング・リタイアメントプランニングとTACテキスト対応表

TACテキスト(テーマ)		出題内容	平成25年1回	平成25年2回	平成26年1回	平成26年2回	平成27年1回	出題数
ファイナンシャルプランニングの基礎知識	6ステップ						1	1
	キャッシュフローの基礎知識	キャッシュフロー表計算問題	2	2	2	2	2	10
	6つの係数を使用した問題		2	2	4	4	2	14
	CFP認定者の倫理原則等			1	1	1		3
	関係法令						3	3
教育資金設計	教育ローン等の利用	奨学金	1		2	1	1	5
		教育一般貸付	1			1		2
		贈与税の非課税制度		1				1
住宅資金設計	住宅ローン返済計画の立て方	住宅ローン借入額	1	1	1	1	1	5
		住宅ローンの繰上げ返済	1	1		1		3
	住宅ローンの主な概要	フラット35	1				1	2
	ローンとクレジットカード	リボルビング返済		1			1	2
		契約者貸付						0
老後生活のための資金計画	高齢者の住まい	高齢者の住まい等	1	1	2		2	6
ライフプラン等に関する税務		退職所得の計算		1	1	1	1	4
		個人年金		1				1
成年後見制度	任意後見制度	任意後見制度	1					1
		法定後見制度		1				1
社会保険	健康保険	協会けんぽ	1		2	1	1	5
		パートタイマーの加入要件	1					1
		保険料計算	1					1
		高額療養費	1	2		2	2	7
		傷病手当金	1	1		2	2	6
		出産に関する保険給付		1				1
		任意継続被保険者	1	1	1	1		4
		退職後の公的医療保険	2	1		1		4
	国民健康保険	保険料		1	1			2
	後期高齢者制度	保険料						0
	公的介護保険制度	介護保険制度	1		2	2		5
		介護保険料		1	1			2
		高額介護合算療養費計算	1		1			2
		介護保険改正					1	1
		介護保険施設他	1	1		2	2	6
	労災保険	労災認定			1			1
		傷病給付			1	2		3
	雇用保険制度	基本手当日額計算等	1	1	1	1	1	5
		教育訓練給付制度等	1	1	1		1	4
		就職促進給付					1	1
		高年齢雇用継続給付			1		1	2
		育児・介護休業法等	2	1	1	1	1	6

公的年金	国民年金の被保険者	加入被保険者		1				1
	国民年金の保険料免除制度	学生納付特例制度・後納・追納	1	1	1			3
	老齢基礎年金	老齢基礎年金の繰上げ支給						0
		老齢基礎年金の繰上げ請求			1			1
		老齢基礎年金の繰下げ支給	1					1
		老齢基礎年金額計算		1	1	1		3
		寡婦年金・死亡一時金					1	1
	特別支給の老齢厚生年金	傷病手当金との調整		1				1
		特別支給の老齢厚生年金額計算	1	1		1		3
		老齢厚生年金額の計算			1		1	2
		加給年金・振替加算					1	1
	在職老齢年金	高年齢雇用継続給付との併給調整	1		1		1	3
	障害給付	障害基礎・厚生年金	1	1	1	1	1	5
		障害基礎・厚生年金の計算	1	1		1	1	4
		年金分割制度					1	1
	遺族給付の概要と遺族基礎年金	遺族給付		1	1	2	2	6
		遺族の範囲		1			1	2
		寡婦年金			1			1
		遺族厚生年金額	2	1	1	1		5
企業年金等	確定給付企業年金				1			1
	確定拠出年金	確定拠出年金(企業型)		1		1	1	3
	厚生年金基金	一時金	2					2
	中小企業退職金共済			1	.	1	1	3
		国民年金基金	1	1	1	1	2	6
		小規模企業共済制度			1	1	1	3
その他	調査統計			1			1	2
	最低賃金法						1	1
	資金繰り			1			1	2
	NPO法人について						1	1
	公正証書(手数料等)						1	1
	生活支援(在宅療養・自立支援)						2	2
	正味現在価値法			1		1		2

※表中の数字は出題数です。